

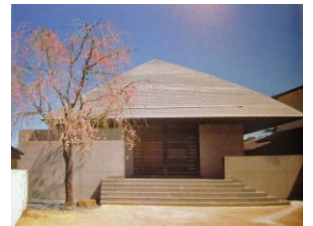
エンディングノートと、みんなの安心

「エンディングノート」を知っていますか？エンディングノートとは、自分に“もしものこと”があった時、残された家族などが困らないように、伝えたい事やお願いしたい事をまとめたノートをいいます。この1月には相続税が増税になりました。それによって、“もしものとき”に、これまでよりも多くの方が増税の対象になり、事前の準備がさらに重要になりました。

自分自身もご家族も、普段から安心して暮らすには、「エンディングノート」や「相続税」、そして「お寺」に普段から関わり、必要な知識を持つておくことが大切です。

さらに、この企画では自分の身の回りだけではなく、日本社会の中で困っている人を含めた「みんな」が安心できる社会をつくるためにはどうすればいいのかについてお話しをします。一例として、私たちのすぐ隣で生活している「難民」の状況を聞きながら、すべての人が希望の持てるこれからの未来を考えたいと思います。よろしかったら、ぜひ足をお運びください。

2月7日（土） 13:00～15:00



会場： 一心山 専念寺（新宿区原町2-59）

地下鉄東西線、早稲田駅下車、2番出口・徒歩8分 地下鉄大江戸線、若松河田駅下車、若松口・徒歩7分

定員： 30名（先着順） 参加費： 無料



エンディングノートの活用 ～”私の思い”を話す～

羽場 真美

ワーカーズ・コレクティブ生活クラブFPの会



相続税増税の最新情報と、「志」を社会に役立てる方法

早坂 毅

税理士、行政書士



となりで暮らしている難民の皆さんを知っていますか？

吉山 昌

公益社団法人 難民起業サポートファンド

【お申込み】 電話・メール・FAXのいずれかで、「認定NPO まちぽっと」までお申込みください

電話； 03-5941-7948（月～金曜日／祝日を除く 10:00～17:00）

メール； info@machi-pot.org

FAX； 03-3200-9250

【主催】 認定NPO法人まちぽっと（草の根市民基金・ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金）

【協力】 一心山 専念寺、公益社団法人 難民起業サポートファンド、認定NPO法人 高木仁三郎市民科学基金

【後援】 新宿区社会福祉協議会

お寺で考える

エンディングノートと、みんなの安心

近ごろ「終活」という言葉を、いろいろな場面で見ることがあります。その時に、「エンディングノート」という文字もご覧になった方も多いのではないかと思います。「エンディングノート」とは、自分に“もしものこと”があった時、残された家族などが困らないように、伝えたい事やお願いしたいことをまとめたノートのことです。「エンディングノート」や「お寺」と、普段から知識や関わりを持つことで、“もしものことがあった時”に備えることができます。

この1月には相続税が増税になり、これから大増税時代がやってきます。「お金持ちではないから」ということではなく、残された方や社会が困らず、皆が良い形になるには、事前の知識と準備が大切になってきています。

一方、経済中心の社会の中で弱い立場に置かれてしまい、困っている方々が世代や地域を超えて多くなってきています。例えば、「難民」というと海を越えた遠いところにいる方たちだと思ってしまうのですが、実は新宿区にも望まない形で故郷を離れて暮らしている方がたくさんいます。

この企画では、地域に長く貢献してきた「一心山 専念寺」のご協力をいただき、自分自身も、家族も、そして周りの人たちにも、未来への希望を伝えていくための仕組みと方法を、皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。

【当日の内容(予定)】

*エンディングノートの活用 ~”私の思い”を託す~

羽場 真美 (ワーカーズ・コレクティブ生活クラブFPの会)

エンディングノートって何? どう書けばいいの?
次の世代や困っている人に思いを託す良い方法って?
などの疑問にお答えします。

*相続税増税の最新情報と「志」を社会に役立てる方法

早坂 毅 (税理士、行政書士)

これからの大増税時代に向けて今のうちに知っておいた方がいいこと、市民も社会もともに幸せになる知識や方法などにお答えします。

*となりで暮らしている難民の皆さんを知っていますか?

吉山 昌 (公益社団法人 難民起業サポートファンド)

新宿区にも、たくさんの難民の皆さんが困難な状況で生活しています。現場でのお話しをお聞きする中で、皆が幸せに暮らせるにはどうすればいいか考えます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

<専念寺さん までの地図>

